

*本資料の配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
大分県政記者クラブ、別府市政記者クラブ、文部科学記者会

NEWS RELEASE



学校法人 立命館

2020. 4. 28 <計2枚>

報道機関 各位

学校法人立命館 広報課

新型コロナウイルス感染拡大に対応する学生・生徒・児童への総合的支援策 「新型コロナウイルス禍に対する学びの緊急支援」について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本来であれば希望に胸を躍らせる新入生や新たな目標に向かうはずの学生・生徒・児童たちは、通常の学園生活を送れない状況が続いています。これまで本学園ではキャンパスへの入構規制や授業実施形態の変更など様々な措置を講じてきました。

この度、学校法人立命館(京都市中京区、総長:仲谷善雄)は、本学園で学ぶ学生・生徒・児童のオンラインを活用した学びと活動の継続・充実を図るための総合的な緊急支援策として、以下の3項目からなる、「新型コロナウイルス禍に対する学びの緊急支援」を策定いたしました。

今後も状況に応じた支援策を検討し、学生・生徒・児童が学業に専念でき、前向きな学園生活を送れるよう、あらゆる策を多角的に実施してまいります。本件に関する仲谷善雄総長コメント(別紙)は、本学ホームページ上に掲載しています。

記

支援名称:「新型コロナウイルス禍に対する学びの緊急支援」

対 象:立命館が設置する大学・学校で学ぶ学生・生徒・児童全員(48,580人 2019.5.1現在)

総 額:25億円

概 要:

1. Web授業のための受講環境整備支援策 16億円程度

- ・本学園で学ぶすべての学生・生徒・児童に対して、一律3万円を支給します。
- ・緊急的にWebを活用した授業実施となることに伴う学生・生徒・児童の各家庭における学習・通信環境整備への負担軽減のための支援策です。
- ・必要な方に対して、PC、ルーターなどを無償で貸し出します。なお、数には限りがあります。

2. 家計急変等経済支援策 5億円程度

- ・アルバイト就労ができなくなる、家計急変により学生生活が困難となる学生に対して、最大9万円(月額3万円×3ヵ月)を支給します。

上記1.の支援とあわせた場合、対象者には最大12万円の支給となります。

- ・公的支援に加えて実施する、家計急変などに対する経済支援策です。
- ・既存の家計急変に対応する制度の対象拡大を進めます。

3. オンラインを活用した学習・生活・諸活動支援策 4億円程度

- ・外出自粛の大きな制約下の状況においても、学生・生徒・児童の学習・生活・諸活動を継続するための支援策です。
- ・学習・生活面を含めたオンラインサポート体制を整備します。
- ・オンラインを活用した多様な学び(就職活動支援、資格や語学講座受講支援などを含む)のプログラム提供やコミュニティ形成支援を進めます。

※実施時期・方法は、確定次第、支援対象となる学生・生徒・児童全員に対して、周知いたします。
以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学および附属校:立命館大学広報課 担当:中村・青柳 TEL.075-813-8300

立命館アジア太平洋大学(APU):APU学長室(広報) 担当:ジョーンズ・大滝 TEL.090-5473-3803

※なお、APU独自の支援内容については4月28日(火)午後15時にAPUよりプレスリリース予定です。

〈総長メッセージ全文〉

学生・生徒・児童の皆さん
保護者の皆様

新型コロナウイルス禍に対する学びの緊急支援について

新型コロナウイルスの感染拡大は社会に大きな影響を及ぼし、国内外で、多くの方々が亡くなられたり、病気と闘っておられます。立命館学園は、亡くなられた方々に心からの弔意を表すとともに、感染された皆様の一日も早い回復を願っています。また、非常に困難な状況下で医療や社会生活を支えてくださっている皆様のご努力ご尽力に、心から敬意を表します。

学生・生徒・児童の皆さん。立命館学園は今、緊急事態宣言を受けて入構禁止措置を取っています。キャンパスにおいて通常の学園生活を送れない状況が続いている中で、何よりも、夢を持って本学園に入学された学生・生徒・児童の皆さんが今、どのような思いで毎日を過ごされているかを心配しています。夢や目標から遠ざかっていくように感じられ、不安になっているかもしれません。ただ、今この状況だからこそしておくべきこと、この状況でもできることはあるかもしれません。改めて、皆さんそれぞれが学校において何を成し遂げたいのかを問い、自らの問題意識を高めてほしいと思います。また、学校や皆さん自身が世界や社会に対してどのような貢献ができるのかについて考える機会としてください。

緊急事態宣言が継続される場合であっても、立命館学園は学園全体として、5月7日からWeb授業を実施することを決定しました。インターネットを介した形式であっても、授業の質を維持し、学生・生徒・児童の皆さんがそれぞれの学びの到達目標を達成できるよう、全力を尽くしていきます。

Web授業の実施にあたり、学園全体として、総額25億円の緊急支援策を取りまとめました。ここでは3つの軸、すなわち①Web授業の受講のために必要な環境の整備の支援、②家計急変等経済支援策、③学習・生活・諸活動支援策、により支援を考えています。今後も、状況の変化に応じて、必要な施策を検討し実施していきます。また同時に、政府に対しても、効果的な支援策の検討と実施を強く訴えていきたいと思えます。

保護者の皆様。教育研究機関は、世界全体に感染が及び、地球規模で取り組むべきこの危機を乗り越えていくために、生命、安全、健康を守ることを第一とした上で、教育と研究を継続するという社会的責任を果たさなければなりません。立命館学園は、教職員が一丸となって、校友と父母の皆様のご協力のもと、学生・生徒・児童の学習、研究、課外自主活動、進路・就職を支えていく所存です。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年4月27日
学校法人立命館
総長 仲谷善雄